

「親の学び」次世代編 実践事例紹介

～津奈木町立津奈木中学校における実践～



【芦北教育事務所】

社会科における 次世代編「いろいろな仕事に関心をもとう！」の活用



【アイスブレイクの様子】



【班で仕事を産業種ごとに分類している様子】



【他の班の学習成果物を確認している様子】



【学習の感想を発表している様子】

【講座の日程等】

日にち：令和3年10月28日（木）
場 所：津奈木町立津奈木中学校
日 程：5校時（13：30～14：20）
対 象：津奈木中学校 第2学年 39名
進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 塩根 暁

【講座の説明】

6時間目の講座「夢をもとう！」と本講座に関連を持たせたプログラム構成にした。本講座を通して津奈木中学校における学校教育目標及び学級目標の実現に迫るとともに、生徒の自立と自律を育むコミュニケーションプログラムとして実施した。

【プログラムの実際】

- ① 学級担任による導入（学習のねらいの確認）
- ② トレーナーによるアイスブレイク
- ③ 「ビジネスの相手」に関する話を聞く
- ④ 津奈木町に必要と思う仕事を考える
（付箋に書く、班で産業種ごとに分類、意見交換、発表）
- ⑤ トレーナーのまとめ
- ⑥ 生徒の振り返り（学習の感想を書く、発表する）
- ⑦ 学級担任のまとめ

【生徒の感想】

- ビジネス相手として、様々な人や企業などがあることを初めて知った。自分が将来就きたい仕事について関心を深め、津奈木町の良さを伝えられる人になりたいと思う。特に第一次産業を生かせる仕事を考えていきたい。
- これまであまり仕事について考えることがなかったので、授業の場で考えたり、みんなの意見に触れたりする機会があって良かった。将来のことについて、もう一度考え直してみようと思った。
- 津奈木町にある仕事やない仕事について知ることができて良かった。また、自分たちの班では出なかった意見を、他の班の人たちがまとめたシートを見て知ることができたので、とても勉強になった。津奈木町の自然を生かした仕事を増やしてほしいと思った。

【教職員の感想】

- 生徒たちは、将来の職業や夢を考えることを通して、これからの生き方について考えることができた。今後、予定しているキャリアガイダンス等において、今回学んだことと重ね合わせて指導していきたい。
- 「親の学び」を通して、生徒たちは津奈木町の将来や自分の仕事について真剣に考える貴重な機会になった。